

10 古文・作文

氏名	クラス	番
得点		/100点
実施日		

一次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 <小計12点>

世の物しり人の、他の説のあしきをとがめず、一むきにかたよらず、これをもかれをもすてぬさまに論ひをなすは、多くはおのが思ひとりたる趣(他の人の学説)をまげて、世の人の心に、あまねくかなへむとするものにて、まことに(自分が信じている趣旨)あらず、心ぎたなし。^②たとひ世の人は、いかにせしるとも、わが思ふすぢをまげて、したがふべきことにはあらず。人のほめしりにはか、はるまじきわざぞ。(広く迎合しようとする)
(玉勝間」より)

(一)——線①「まこと」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア 事実 イ 誠実 ウ 忠実 エ 信用
 (二)——線②「たとひ世の人は、いかにせしるとも」とは、どういうことを言っているのですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア 世間の人に批判されても。 イ 世間の人に賞賛されても。
 ウ 世間の人に認められても。 エ 世間の人に無視されても。
 (三) 筆者は、学者はどんな態度を保つべきだと述べていますか。十五字以上二十五字以内で書きなさい。

(一)	(二)	(三)
15		

各4点

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 <小計12点>

これも今は昔、丹後守保昌、国へ下りけるとき、与佐の山に、白髪の武士一騎会ひたり。道の傍らなる木の下に、うち入りて立てたりけるを、国司の郎等ども「この翁、など馬より下りざるぞ。奇怪なり。とがめ下ろす昌の家来たち」(無礼だ)と言ふ。^①ここに国司の言はく、「一人当千の馬の立てやうなり。ただにはあらぬ人ぞ。とがむべからず。」と、制してうち過ぐるほどに、三町ばかり行きて、大矢の左衛門尉致経、あまたの兵を具して会へり。国司、○メートルほど行つて
(約三三)会釈する間、致経が言はく、「ここに老者一人会ひ奉りて候ひつらむ。致経が父、平五大夫に候ふ。堅固の田舎人にて、子細を知らず。無礼を現じ候ひつらむ。」と言ふ。致経過ぎて後、「さればこそ。」とぞ言ひけるとか。(あなたがどなたであるか存じません。失礼をいたしましたことでしょう)
(宇治拾遺物語」より)

(一)——線A～D「の」の中で、異なる意味・用法で用いられているものを一つ選び、記号で答えなさい。
 (二)——線①「会ひ奉りて候ひつらむ」とありますが、誰が誰に会ったのですか。次から選び、それぞれ記号で答えなさい。
 ア 丹後守保昌 イ 郎等 ウ 平五大夫 エ 左衛門尉致経
 (三)——線②「さればこそ」とありますが、どういう意味ですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア 保昌が思ったとおり、先ほどの白髪の武士はただものではなかった。
 イ 致経は、平五大夫は自分の父であると保昌にさり気なく忠告した。
 ウ 保昌は平五大夫が致経の父であること知り、自分の非礼を後悔した。
 エ 致経は、白髪の武士が保昌の前で馬から下りなかつたことに納得した。

(一)	(二)	(が)	(に)	(三)
-----	-----	-----	-----	-----

各4点

三次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。 <小計12点>

小松内府、賀茂祭り見んとて、車四・五輛ばかりにて、一条の大路に出でたまへりけり。物見車立ち並びて、すき間もなかりけるに、^①いかなる車かのけられんずらんと、人々目をすましたる所に、ある便宜(都合のよい所)の所なる車どもを、引き出だしけるを見れば、皆人も乗らぬ車なりけり。かねて見所を取りて、人を煩はさじのために、^②むな車を五輛立て置かれたりけるなり。(煩わすまいと)
 そのころの内府のきらにては、いかなる車なりとも、争ひがたくこそありけめども、六条の御息所の古き例を、^③よしなく覚えたまひけん。さやうの心ばせ情深し。(威光では)
(対抗できなかったらうが)
(まらないと思ひなかつたのだらうか)
(十訓抄」より)
 注 *1小松内府(内府)＝平重盛。
 *2賀茂祭り＝京都の神社の祭り。
 *3一条の大路＝平安京の大通り。
 *4物見車＝見物の車。
 *5むな車＝からの車。
 *6六条の御息所＝「源氏物語」の登場人物。場所取りで争った。

(一)——線①「たまへりけり」を現代かなづかいに直し、すべてひらがなで書きなさい。
 (二)——線②「いかなる車かのけられんずらん」の意味として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア どの車がのけられるのだろう。 イ どの車がやって来るのだろう。
 ウ どこに車があるのだろう。 エ 置いてあるのは誰の車だろう。
 (三)——線③「さやうの心ばせ」とは、どんなことの心づかいですか。最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
 ア 祭りから平穩に帰ること。 イ 他人を煩わさないこと。
 ウ 大路を歩くこと。 エ 祭りをにぎやかにすること。

(一)	(二)	(三)
-----	-----	-----

各4点

四次の漢文と書き下し文を読んで、あとの問いに答えなさい。 <小計12点>

子貢曰、「君子之過也、如日月之食焉。過也、人皆見之。更也、人皆仰之。」
(子貢が曰く、「君子の過つや、^①。過つや、人皆これを見る。更むるや、人皆これを仰ぐ。」と。
(「論語」より)
 注 *1子貢＝孔子の弟子。
 *2如日月之食焉＝日食や月食のようなものだ。

(一)——線部「人皆見之」に、書き下し文を参考にして返り点をつけなさい。
 (二)——に入る最も適切な言葉を次から選び、記号で答えなさい。
 ア 如し日月の食するが如し イ 食するが日月の如し
 ウ 日月の食するが如し エ 日月の如し食するが
 (三) 筆者は、どんなことの大切さを述べていますか。十字以内で書きなさい。

(一)	人 皆 見 之	(二)
(三)		

各4点

五 「情けは人のためならず」ということわざが、最近は何をかけるとその人のためにならないという意味に誤解されていることが多いようです。このことについて、あなたの考えを百字以内で書きなさい。なお、段落分けはせず、一マス目から書くこと。

〈小計10点〉

六 国語の時間に、「勉強」について、次の二つの立場のどちらかの立場に立って意見を発表することになりました。あなたの意見をあとの条件に従って書きなさい。

- 〈小計15点〉
- A 勉強は、質よりも量を重視すべきである。
 - B 勉強は、量よりも質を重視すべきである。

- 〈条件〉
- 1 A・Bのどちらかの立場を選び、選んだ記号を解答欄の所定の欄に記入すること。
 - 2 あなたの具体的な体験についても触れること。
 - 3 適宜段落を設けて、全体を百五十字以上二百字以内でまとめること。
 - 4 題名と氏名は書かないで、本文から書き始めること。
 - 5 原稿用紙の正しい使い方に従い、漢字を適切に使って書くこと。
- 選んだ記号〔 〕

15点 150

七 「国際社会を生きていくために」というテーマについての次の意見を読んで、あなたの意見をあとの条件に従って書きなさい。

〈小計12点〉

意見 私は、国際社会を生きていくためには、何よりも外国語、特に英語を使えるようになることが大切だと思います。日本も世界を相手に仕事をしなければならぬ時代になり、そこで英語が使えないと国際舞台で仕事をすることは今後ますます困難になっていくでしょう。これからは、誰でも英語を使えるようになることが望ましいと思います。

- 〈条件〉
- 1 二段落構成の作文とし、一段落目には、右の意見に対するあなたの意見を書くこと。二段落目には、あなたの意見の根拠を具体的に書くこと。
 - 2 全体を百字以上百五十字以内でまとめること。
 - 3 題名と氏名は書かないで、本文から書き始めること。
 - 4 原稿用紙の正しい使い方に従い、漢字を適切に使って書くこと。

100 12点

八 次の会話は、翔太さんと美咲さんがお礼を伝える手段について話し合っているところです。この会話の内容を参考にして、お礼を伝える手段についてのあなたの考えを百五十字以上二百字以内で書きなさい。なお、段落分けはせず、一マス目から書くこと。また、自分の意見と根拠を明確にすること。

〈小計15点〉

翔太 ほくは、お礼を伝える手段は電子メールがよいと思います。なぜなら、お礼の気持ちをすぐに伝えることができるからです。

美咲 私は、お礼を伝える手段は手紙のほうがよいと思います。なぜなら、手紙だと、もらった人が何度も読み返せるし、保存もできるからです。

翔太 電子メールだって、読み返せるし、保存することも可能です。

美咲 でも、電子メールだと相手に気持ちが伝わりにくいと思います。気持ちを込めて書いた文字は、相手に気持ちが深く伝わるはずですよ。

15点 150